



米軍ヘリの津堅島への不時着に対する要請を行いました!

去る6月28日、米軍普天間飛行場所属UH-1Yヘリの津堅島への不時着に対する抗議決議及び意見書が全会一致で可決されました。同日、議長、基地関係特別委員会正副委員長らが県内関係機関へ直接要請を行いました。

ぎのわん 第120号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098)893-4411(内5621)
印刷株式会社 沖産業

PFOS等を含む汚水の適切な処理を求める要請を行いました!

去る7月30日、米軍普天間飛行場内におけるPFOS等を含む汚水の適切な処理を求める決議及び意見書が全会一致で可決されました。同日、議長及び議会運営委員会正副委員長が県内関係機関へ要請を行いました。また、7月13日に発生した米軍による沖縄県渡名喜村沖海上への鉄製コンテナ落下事故に対しても議長及び基地関係特別委員会正副委員長が要請を行い、決議及び意見書を直接手交いたしました。



沖縄防衛局長へ決議及び意見書を手交する議長(令和3年7月30日)

定例会の経過

6月	3日	議会運営委員会
	7日	議会運営委員会／基地関係特別委員会／各派代表者会議
	10日	案件上程、説明／議会運営委員会／基地関係特別委員会
	14日	質疑、委員会付託／基地関係特別委員会／広報広聴委員会
	15～16日	各常任委員会議案審査
	18～25日	一般質問(質問者19名)
	17日	議会運営委員会
	18日	基地関係特別委員会
	21日	広報広聴委員会
	25日	議会運営委員会
	28日	各常任委員会の審査報告及び表決

令和3年度宜野湾市一般会計補正予算(第3号)を全会一致で可決しました!!

6月定例会

会期
6月10日～6月28日

第435回宜野湾市議会定例会は、6月10日から6月28日までの19日間の会期で開かれました。

今定例会は、宜野湾市企業版ふるさと応援基金条例の制定について、宜野湾市民会館舞台機構改修工事請負契約について、令和3年度宜野湾市一般会計補正予算(第4号)を含む28件にわたる議案等が審議され、19名の議員による一般質問も行われました。

児童福祉施設等従事者へ新型コロナウイルスワクチンの優先接種を求める意見書の提出 及び新型コロナウイルス感染症対策等に係る政策等についての提言を行いました！



県へ意見書を手交する議長及び新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会正副委員長

去る7月8日、児童福祉施設等従事者へ新型コロナウイルスワクチンの優先接種を求める意見書が全会一致で可決され、翌日9日、議長及び新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会正副委員長が、沖縄県保健医療部長へ意見書を直接手交いたしました。同意見書では、児童福祉施設等従事者へ新型コロナウイルスワクチンの優先接種を迅速に行うことなど3項目について対応を要請しました。また、7月30日に本市議会3回目となる新型コロナウイルス等感染症対策等に係る政策提言を市長へ手交しました。感染防止対策及び経済活性化への提言として、飲食店休業に伴い減収した酒類販売店等の卸売り業者への支援についてなど3項目に関する政策を提言しました。

米軍普天間飛行場所属MV-22オスプレイの部品落下事故に対する要請を行いました！



沖縄防衛局長へ意見書を手交する副議長

米軍普天間飛行場所属MV-22オスプレイが、同飛行場とキャンプシュワブからキャンプハンセンにまたがる中部訓練場の間を飛行中に重さ1.8キログラムのパネルと、フェアリングと呼ばれる覆いを落下させたことに伴い、去る8月20日、基地関係特別委員会より米軍普天間飛行場所属MV-22オスプレイの部品落下事故に対する抗議決議及び意見書が本会議へ提出され、全会一致で可決されました。同日、副議長及び基地関係特別委員会正副委員長が県内関係機関へ直接要請を行いました。同抗議決議及び意見書では、事故原因を徹底究明し速やかに公表することや、実効性のある再発防止策を講じるまでの間は同型機の飛行訓練を中止することなどを求めました。

令和3年度議会報告及び市民との意見交換会について

6回目となる「議会報告及び市民との意見交換会」は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、昨年に引き続き、インターネット上にて、市議会で審査した議案等を議会活動として報告するとともに、市民の声を市政に反映させることなどを目的に、アンケートによりご意見を募り、56件の貴重なご意見を頂きました。頂いたご意見やご要望は、市政の課題として捉え、議会で調査や検証を行い、議会として政策立案や市長への政策提言等につなげるよう努めてまいります。また、ご意見に対する市議会からの回答は、9月末ごろに市議会ホームページ等で公表してまいります。

市議会に寄せられた意見(一部抜粋)

- 22時以降のヘリの音がうるさいです。
- 市民が優先に利用できる火葬場を建設してほしい。
- ウチナーグチをひろめる為に条例をつくり子供達におしえたい。
- 市道宜野湾11号は夜暗くて怖い。早く街灯を付けて明るくしてほしい。
- 市道宜野湾11号の歩道はガードレールがないと歩行者が危ないと思います。
- 本市は湧水のPFAS汚染も明らかになっています。原因究明及び除去の対策を図ってほしい。
- 今後年を取ると坂の上り下りができなくなるので、自宅前までゴミ収集に来てほしい。
- アパートの住人は自治会に入るにはどうしたらいいでしょう？
- 野嵩地区、普天間地区にスケボーのできる公園や場所を検討してほしい。

一般質問

今定例会は、19名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を市民図書館や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

- 市長 松川 正則
- 副市長 和田 敬悟
- 教育市長 知念 春美
- 上下水道局長 島袋 清松
- 総務部長 伊波 保勝
- 企画部長 安藤 陽
- 基地政策部長 米須 良清
- 福祉推進部長 岡田 洋代
- 健康推進部長 崎間 賢
- 市民経済部長 国吉 孝博
- 建設部長 石川 康成
- 教育部長 嘉手納 貴子
- 指導部長 又吉 直正
- 消防長 浜川 秀雄

議会会議録検索システムのURL
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/ginowan/SpTop.html>
※6月定例会の内容は9月9日(木)に掲載予定です。



議会中継放送のURL
<http://www.ginowan-city.stream.jfit.co.jp/>
※録画放送は会議の3日後を目安にご覧いただけます。



市民から要望の多い スケートボード広場の 確保について



桃原 功 議員

◎議員 遊べる場所が限られているスケボーをする小中学生の居場所確保について見解を伺う。

◎指導部長 一般的な中学生の放課後の居場所に部活動があり、スケボーニーズの高まりから新たな部活動となる可能性はある。一方で施設を造るには費用や敷地の面から厳しいと考える。

◎議員 議会と市民の意見交換会でスケボー広場の設置要望が四件あった。これから造る野膏第一公園や西普天間地区の公園への併設を伺う。

◎建設部長 海浜公園内の整備を計画している。

◎議員 他に消防裏駐車場、市役所の新駐車場、

または、消防と市民広場の間の空き地はどうか。

◎教育部長 消防裏は、防衛局から市民会館等の専用駐車場として借用しているためできない。

◎総務部長 市庁舎の駐車場は安全上の観点から、適していないと考える。また、提案の空き地は市民広場内のため米軍との調整が必要となり他の公園施設とも比較しながら検討する必要がある。

その他の主な質問

- ・ヤングケアラーの実態と対策について
- ・「マンガで知ろう『ぎのわん市の沖縄戦』」の表現について



録画映像はこちらからご覧下さい。

キャッシュレス推進の 取組について



真喜志 晃一 議員

◎議員 クーポン&キャッシュレス推進事業の概要を伺う。

◎市民経済部長 市内取扱店等で利用可能なクーポン券を市内全世帯へ配布し市民生活の支援と消費の後押しをする事業と、キャッシュレス決済による支払いをした方にポイントを還元し、キャッシュレス推進等を図る事業である。

◎議員 お客さんがクーポンで払った後、いつ現金にできるかが重要である。換金スピードを二、三日中、できれば翌日には店舗に現金が入るよう、委託業者の選定をお願いしたい。

◎市民経済部長 換金のスピード性を審査項目に設けており一連の流れを総合的に評価したい。

◎議員 私が要望していたキャッシュレス決済推進への取組に感謝申し上げます。今回はQR決済をメインで導入すると聞いたが、複数の決済手段が扱える業者への委託をお願いしたい。

◎市民経済部長 消費者の選択肢も増えるため、実現性や効果等を勘案し選定委員会で審査してまいります。

その他の主な質問

- ・嘉数小学校区への児童センター設置について
- ・スクールゾーンの安全対策について
- ・GIGAスクールの取組について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種の取組について



録画映像はこちらからご覧下さい。

西海岸地域開発の取組について



山城 康弘 議員

◎議員 西海岸地域は、愛誠園跡地、大山土地区画整理、仮設避難港や海浜公園等を含めた全体的な構想を立て、利用者や観光客等がそこで消費をするシステムの構築が必要であると考えるが市の見解を伺いたい。

◎企画部長 各事業については、総合計画や沖繩二十一世紀ビジョンなどの上位計画に基づき進めている。各事業をリンクさせた全体的な計画とは、観光や宿泊などを総合的に連携させ本地域で人々が滞留する仕組みづくり等を行うための計画と理解するが、内容の実現に向け取組を進め、必要に応じ策定を検討してまいりたい。

◎議員 商業地や駐車場を整備するために公共施設の再配置を検討していただきたい。

◎企画部長 当エリアのポテンシャルを考える

と検討に資すると存じることが一括交付金継続の動向や開発状況等総合的に参酌し検討したい。
◎議員 西海岸地域開発へ皆で知恵を出し合い、普天間飛行場の大規模な跡地計画までつなげてまいりたい。

その他の主な質問

- ・国民健康保険財政健全化計画の取組について
- ・第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について



録画映像はこちらからご覧下さい。

児童福祉施設等の感染予防対策について



知念 秀明 議員

◎議員 去る六月十六日、市長宛てに市学童クラブ連絡協議会から要請があったと思うが、学童クラブ職員に対する新型コロナウイルスの優先接種等について、是非実施をしていただきたいと思います。見解を伺う。

◎健康推進部長 市長より県へ、広域ワフチン接種センターを活用した学童クラブ職員や保育士、教員等エッセンシャルワーカーへの優先接種の実施について依頼したところであり、現在実施に向けて県と調整を行っている。

◎議員 私立保育園連絡協議会、認可保育園からもワフチン優先接種の要請があったと思うが、私は、今の社会、共働きが多いこの時代は、保育園や学童の職員もエッセンシャルワーカーであると考えている。この変異株の脅威にさらされた中で業務を遂行する職員にとって、心理的、身体的ストレスは、かなりのものがあると思う。広域として県に要請していくことも考えていただく、ぜひ真剣に取り組んでいた

その他の主な質問

- ・中学校卒業者等への進路支援について
- ・学習等供用施設及びコミュニティ供用施設の運用について
- ・ぎのわん元気再生！クーポン&キャッシュレス推進事業について



録画映像はこちらからご覧下さい。

児童相談関連施設の複合拠点化整備について



宮城 克 議員

◎議員 児童の権利に関する条約は一九八九年に国連で採択をされ一九九七年に国連条約として発効された。日本では児童の権利に関する条約の批准から二十七年が経過しているが、いまだ浸透しているとは言い難いものである。特に近年、児童虐待や貧困、不登校やひきこもり等が深刻な問題となっており、また、昨年春先からの新型コロナウイルス感染症の拡大により虐待事案の深刻化や経済的格差の拡大に早急な対策が求められているが、宜野湾市において全ての子供たちが安心、安全かつ健やかに育つための理念、環境整備が整っていると云えるのか。

身体的・性的・心理的虐待、ネグレクトやいじめ、貧困による家庭問題、DVの関連性、一時保護やDVの存在を含めた特定妊婦の支援、さらに見守りが必要な親子の転居に伴うフォローアップ等と、支援には多くの関連団体の連携が必須である。的確かつ迅速に問題解決を行うために関連団体の機能を一か所へ集中すべきと考える。

その他の主な質問

- ・市内全ての公園への防犯カメラ設置について
- ・市道宜野湾11号道路整備について
- ・普天間飛行場ゲート4エリア(市民広場)の整備について



録画映像はこちらからご覧下さい。

いこいの市民パーク 出入口の交通安全対策 について



米須 清正 議員

◎議員 出入口の国道三三〇号でこれまで起きた事故件数と駐車場の収容台数を伺う。

◎市民経済部長 宜野湾警察署に確認したところ、過去五年間人身事故ゼロ件であるという回答であった。駐車場の収容台数は国道の表側に四十九台、身体障害者用が二台となっている。

◎議員 いこいの市民パークは朝夕、近隣の老人クラブや子供達の利用が多い公園となっている。高齢者は車での利用が多く、国道に出る際、急な坂道でスピードを出す車両が多く、右折が困難な場所となっているため、「おゆずりエリア」を設置していただきたい。五月二十一日に近隣自治会長、南部国道事務所と確認しており、当局に連名で要請していると思うが、いかがか。

◎市民経済部長 近隣の五自治会連名での要請書を受理し、南部国道事務所長宛に市長より要請している。

◎議員 回答はまだ来ていないのか。

◎市民経済部長

今後、南部国道事務所が現地調査し本市と調整を行う予定である。

その他の主な質問

- ・新型コロナウイルスワクチン接種等について
- ・市道宜野湾11号開通後の整備について



録画映像はこちらからご覧下さい。

防犯カメラが設置されて いない地域への設置 について



石川 慶 議員

◎議員 平成二十九年度に防犯灯・防犯カメラ緊急整備事業にて、防犯カメラを五十八台設置しているが、令和元年十二月議会において、地域によって設置台数の差があり、未設置の地域があると指摘した。現在の進捗状況を伺う。

◎市民経済部長 通学路安全点検などにおいて、防犯カメラの設置や増設の要望もあることから、要望を整理しているところである。

◎議員 宜野湾警察署協議会で防犯カメラ設置が議論されていることを把握しているか伺う。

◎市民経済部長 協議、検討がなされたことを把握している。

◎議員 設置されていない大山区、中原区、長田区、宜野湾区の区内には学校や公園等もあり、単費でも設置すべきと考えるのがいかがか。

◎市民経済部長

防犯カメラの設置については、学校や自治会、宜野湾署等、関係機関のニーズを把握するとともに、関係各課と設置について調整してまいりたい。

その他の主な質問

- ・市道宜野湾11号全面開通と今後の市内道路交通網の課題解決について
- ・防災士養成状況と市独自の(仮称)防災マイスター認定制度の導入について
- ・大山学校給食センター統廃合計画と課題について



録画映像はこちらからご覧下さい。

ごみ処理費用削減と ごみ減量化への取組 について



伊佐 哲雄 議員

◎議員 倉浜衛生施設組合への運営負担金を含むごみ処理にかかる過去三年間の年度ごとの財政支出額を伺いたい。

◎市民経済部長 平成三十年度八億五千六百万円余、令和元年度八億五千五百三十八万八千四百四十五リットルのごみ袋の処理費用は百六十四・四円となっている。

◎議員 排出量の減により、ごみ処理にかかる多額の経費も減とすることができると考えるが、当局の見解と取組について伺う。

◎市民経済部長 現状は人口増、古紙類の非リサイクル化、コロナ禍の生活様式の変化により、排出量は増加傾向にあり、経費削減は厳しい状況である。これまでの取組としては、生ごみ処理容器購入費補助金事業や段ボールコンポストの実践講習会などがある。

◎議員 生ごみは堆肥化により唯一家庭内で最終処分ができるごみである。そのことを市民に浸透させる取組をお願いしたい。

その他の主な質問

- ・公共施設の安全点検について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種状況と今後の計画について
- ・ワクチン接種後の副反応の発生状況について
- ・臨時休校に伴う児童生徒への学習支援について



録画映像はこちらからご覧下さい。

基地返還跡地転用推進事業について



宮城 司 議員

◎議員 当該事業の概要について伺う。

◎基地政策部長 沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法に基づき、学校用地として十一万五千平方メートルの土地取得を目標としている。財源については一括交付金積立金から充当している。

◎議員 残りの取得予定面積と用地購入費はどのようになっているのか。

◎基地政策部長 措置法は今年度が最終年度となるため、不足分の約三万九千四百六十八平方メートル取得する計画であり、用地購入費用は二十五億六千二百五十二万円を計上している。

◎議員 計画どおりの取得は可能なのか。

◎基地政策部長 残り約三万九千平方メートルの取得は困難であると考ええる。

◎議員 一括交付金の制度や基金の期間延長を国へ要請していただきたい。

◎市長 跡地利用推進法、一括交付金についても延長あるいは代替制度の創設を要請しているところである。

その他の主な質問

- ・市道宜野湾11号開通について
- ・「宜野湾市の歌」の活用について
- ・GIGAスクール構想及び教育環境整備事業について



録画映像はこちらからご覧下さい。

「生理の貧困」生理用品の配布などの支援策について



屋良千枝美 議員

◎議員 新型コロナウイルスの影響で経済的に困窮する家族が増える中、ナプキンや生理用品が買えない「生理の貧困」の社会背景をどう理解し実態把握をされているのか伺いたい。

◎福祉推進部長 長引くコロナ禍を受け女性を取り巻く社会的環境が悪化し解雇や失業に追い込まれる女性が増加している。経済的な理由で生理用品の購入に苦慮する等を理解している。

◎議員 多くの自治体が役所や社会福祉協議会の窓口で生理用品の配布を行い、小中学校ではトイレにナプキンを置くなど支援の輪が広がっているが他市町村の状況を伺いたい。

◎企画部長 沖縄市では予算措置で児童館などに配布をされ、糸満市は防災備蓄品から小学校や社協で配布し、北谷町においても住民からの寄付により学校へ配布している。

◎議員 学校に生理用品を常備する支援策を伺う。

◎指導部長 他市町村の取組状況や実情など情報を収集し、関係部局と連携しながら検討してまいりたい。

その他の主な質問

- ・新型コロナウイルスワクチン接種の状況について
- ・平和・基地行政について



録画映像はこちらからご覧下さい。

アスベスト解体工事に対する支援について



呉屋 等 議員

◎議員 解体工事におけるアスベスト調査費用等について相談件数を伺いたい。

◎建設部長 補助制度などの問合わせが、週に一、二件程度寄せられている。

◎議員 県には補助金制度はあるが、補助金交付要綱がある市町村でなければ交付できない制度である。市民からの相談はあるのに、なぜ補助金交付要綱がないのか伺いたい。

◎建設部長 県内の建築物では、セメント等にアスベストを配合し吹き付けられた事例はあるが、これは補助対象にならず市民ニーズに合致しないので要綱の策定に至っていない。

◎議員 人が使いやすくなるのが法律だと思つ。大気汚染防止法の改正に伴い、今後に備えて補助金の要綱を調査研究されてはどうか。

◎建設部長 県内に多くある鉄筋コンクリート建築物に使用しているアスベスト除去制度に活用できるように、県と連携し国への要請を調整したい。

◎議員 健康被害が起きる前にお願

その他の主な質問

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・消防団員への支援と組織強化について
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業の成果と今後の取組について



録画映像はこちらからご覧下さい。

市の情報管理について



宮城政司 議員

◎議員 人事課所有の専用フォルダへの不正アクセスにより職員が懲戒処分された件について、市職員の個人情報の中で閲覧できた内容について。

◎総務部長 市職員の住所、学歴、家族構成、療養状況、勤務履歴などとなっている。

◎議員 今回の事案が起きた原因を伺う。

◎総務部長 情報の取扱い及び法令遵守に対する意識が低下していたこと及び情報を扱う側のセキュリティ意識の低さが不正アクセスを許した大きな原因と考える。

◎議員 今回の事案の対応と再発防止策を伺う。

◎総務部長 個人情報情報の適切な取扱い及び情報セキュリティの関係法令の遵守、セキュリティ性の高いパスワードへの変更を全職員に向けて通知した。また本人認証をより厳格にできる要素認証の仕組みの導入を検討する。

◎議員 不正アクセス禁止法に抵触する可能性は自覚しているか。

◎総務部長 宜野湾警察署が確認にきていた。今後二度と発生しないよう取り組みたい。

その他の主な質問

- ・市道宜野湾11号の整備について



録画映像はこちらからご覧下さい。

しまくとぅばの普及促進について



上里広幸 議員

◎議員 学校教育での取組と課題を伺う。

◎指導部長 授業や学校行事の中で発達段階に応じて郷土の文化等を学びしまくとぅばに触れる機会を設けている。指導できる教員が少ないことが課題と考える。

◎議員 教員が指導しやすく、児童生徒のよりよい学びの環境をつくるためにも、県の教員向けウチナーグチ実践講座の活用が必要だと考えるが見解を伺う。

◎指導部長 児童生徒の発達段階に応じたウチナーグチの指導方法を学ぶために必要だと考えるので、積極的な参加を促してまいりたい。

◎議員 市内でしまくとぅばの促進活動している方々の高齢化が懸念されるが、連携及び支援について伺う。

◎教育部長 文化協会との連携協力を深めることは重要で、若い世代への普及促進も大切である。子供や一般市民向けの講座を開設し、しまくとぅばに親しんで興味を持つ取組を考えている。

その他の主な質問

- ・市長の公約である火葬場建設の推進について
- ・市道宜野湾11号及び接続箇所付近の安全対策について
- ・下水道接続促進事業の取組について



録画映像はこちらからご覧下さい。

公園整備事業計画について



桃原 朗 議員

◎議員 本市の公園整備計画目標及び整備進捗率等について伺う。

◎建設部長 本市の都市公園の整備目標については、中期目標の令和十二年度までの整備面積で人口一人当たり六平方メートルを目標としており、令和二年度末での人口一人当たりの整備面積は三八平方メートルである。整備進捗率は目標である約六三%となっている。

◎議員 現在進行中の野嵩第一公園及び比屋良川公園の事業期間と整備進捗について伺う。

◎建設部長 野嵩第一公園の事業期間は、昭和六十三年六月から令和四年三月末となっており、進捗率は約七六%である。また、比屋良川公園の事業期間は、平成三年八月から令和五年三月末で、事業進捗率は約七八%である。

◎議員 市民との意見交換会の中でも普天間地域の保護者や子供から、スケートボード等が安全に楽しめる施設を普天間地区に設置してほしいという声があるので、ぜひ検討していただきたい。

その他の主な質問

- ・自主財源の確保について
- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・伊佐1号道路改良事業について



録画映像はこちらからご覧下さい。

認知症予防への取組について



栄田直樹 議員

◎議員 包括支援センターに設置されている認知症タッチパネルの設置目的について伺う。

◎健康推進部長 認知症タッチパネルは、認知症の早期発見を目的に開発されたコンピューターを使ったタッチパネル式の機器である。

◎議員 この認知症タッチパネルがどのような場所で活用されているか伺う。

◎健康推進部長 認知症タッチパネルは四か所の包括支援センターに設置しており、ミニデイ、認知症カフェ、自治会でのイベント、介護予防教室、家庭訪問などで幅広く活用している。

◎議員 市内の老人福祉センターで、教育講座やサークルなどの活動をしているが、ここには多くの高齢者の方々が参加している。そこに間仕切をし、個室をつくって、希望される方へ早期発見、早期診断を行うことを検討していただきたいが、いかがか。

◎健康推進部長

老人福祉センターでの活用について指定管理者、包括支援センターと検討してまいりたい。

その他の主な質問

- ・特別支援学級の在り方について
- ・認知症初期集中支援チームの設置及び活動推進について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種の実施状況について



録画映像はこちらからご覧下さい。

交通弱者に対応したデマンド型バス・タクシーの取組について



伊波一男 議員

◎議員 今後の高齢化社会、車を持っていない方々、全ての市民に対して利用できる事業に取り組んでもらいたい進捗を伺う。

◎市民経済部長 コミュニティバスの取組は、財源の確保が課題となり見送りとなった経緯があるが、改めて交通弱者に対応する地域公共交通の導入が可能か検討している。特に中城村が運営する護佐丸バスや、浦添市が実証実験を行っているデマンド型コミュニティバスうらちゃんminiなどの連携、市単独事業としては期間やモデル地域を設定してのタクシー利用補助などの実証実験などを検討している。

◎議員 うらちゃんminiは、ワンボックスカー十二台が浦添市内一円を走っているが、本市との連携について伺う。

◎市民経済部長

浦添市の事業財源が沖縄振興公共投資交付金であり、実証実験の延長や実験後、本市が一部運営費を負担して本市の一部乗入れの連携が可能か、調整してまいりたい。

その他の主な質問

- ・新型コロナウイルスワクチン接種について
- ・ぎのわん元気再生！クーポン&キャッシュレス推進事業の事業内容と効果について
- ・市道宜野湾11号の交通安全対策について



録画映像はこちらからご覧下さい。

ファミリーサポートセンター事業について



又吉亮 議員

◎議員 同事業の目的と内容を伺う。

◎福祉推進部長 多様な子育てニーズへの対応を図ることを目的として、地域における育児の相互援助活動を推進するものである。

◎議員 事業を実施している二十二自治体のうち、直営で事業実施している自治体数を伺う。

◎福祉推進部長 直営が八自治体、残りの十四自治体が業務委託となっている。

◎議員 本市は同事業に年間九百八万円の予算を投入し、利用実績は約二千五百回であり、一件当たりの費用が三千六百元となっている。事業を否定するわけではないが、費用対効果として見た場合に疑問が残る。利用者数を増やすことで費用対効果を上げ、市民へのサービスを拡充していくためにも、業務委託すべきだと思うが、見解を伺う。

◎福祉推進部長

県内他市においても委託事業としてある自治体が多いことから、業務委託に向け検討してまいりたい。

その他の主な質問

- ・新生児子育て応援給付金事業について
- ・不妊治療に対する取組について
- ・見守り自動販売機運営委託事業について



録画映像はこちらからご覧下さい。

就学援助制度(新入学児童生徒学用品費の改正)について



岸本 一徳 議員

◎議員 本市の新入学児童生徒学用品費の単価は、沖縄県内において最低の単価になっていたが、今定例会で単価改正し、補正予算で計上したことに對し、感謝を申し上げる。単価改正検討の経過内容並びに改正後の新入学用品費の単価改正額と差額の支給方法について伺いたい。

◎指導部長 去る令和二年度三月議会にて指摘を受け、関係部署と急ぎ調整を行い、今定例会で補正予算の計上を行った。改正後は小学校が四万六千円、中学校が四万七千四百円となっている。差額の支給方法については、改正後の単価の差額を八月に支給する予定である。

◎議員 新入学児童生徒学用品の購入品目、金額等について実態把握をすることで、今後の改正、見直し等の際の根拠になると考えるが、いかがか。

◎指導部長 現状

等を踏まえ、今後、国の示している単価基準、他市の状況を配慮し、検討の上、支援の拡充、充実に努めてまいりたい。

その他の主な質問

- ・重層的支援体制整備事業について
- ・特定健診及びがん検診の受診率向上の取組について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業と感染症対策について



録画映像はこちらからご覧下さい。

市庁舎及び公共施設の安全対策について



平安座武志 議員

◎議員 去る六月三日、本会議場天井のコンクリート片剥離落下事故が起きた。築四十一年が経過する市庁舎の今後の整備計画を伺う。

◎総務部長 普天間飛行場跡地利用を見据えての整備計画が想定され、長期的・短中期的な視点に分けての計画になる。長期的な視点として、今後の基地返還状況等を見据えながら、次の新庁舎整備に向けた計画策定を行うことを考える必要がある。短中期的な視点として、予算の都合上、耐震改修工事を含めることができなかった外壁改修や内装改修がある。

◎議員 新庁舎建設は、普天間飛行場返還後ということだが、現在の状況を見ると、基地提供区域の一部返還等、他の案の検討も必要と考えるが、いかがか。

◎総務部長 耐震

工事の際、補助金を活用した関係で、今後二十年は修繕等を行っていくが、今後別の視点についても、基金含めて早急に対策、方針決定に向けて議論する必要があると考えている。

その他の主な質問

- ・スクールソーシャルワーカー活用事業について
- ・(仮称)総合福祉健康増進センターの建設について



録画映像はこちらからご覧下さい。

6月定例会 主な議案審議経過

令和3年度宜野湾市一般会計補正予算(第3号)

可決

予算の主な内容は、保育環境改善等事業、新型コロナウイルススワクチン接種事業等により、一億八千五百七十八万五千円を追加補正するものである。

委員会審査では、新型コロナウイルススワクチン接種事業において市立体育館の使用料を計上する理由について質疑がなされ、それに対し、当該施設の管理は指定管理者が行っているため、使用料は国の補助金の交付対象となることから計上しているとの説明がなされた。

また、要保護及び準要保護学用品費援助事業における新入学児童学用品費改定後の支給方法等について質疑がなされ、これに対し、今年三月に支給済みだが、今回の改定による差額分を、八月末に口座振り込みでの支給を検討しており、対象者には文書での通知も行う予定であるとの答弁がなされた。本会議の表決に当たっては、全会一致で原案のとおり可決された。

はしご付消防自動車購入に係る物品の取得について

同意

議案の主な内容は、はしご付消防自動車購入に係る物品売買契約の締結については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第二条の規定により議会の議決を得る必要があるものである。

委員会審査では、はしご付消防自動車の出勤実績が少ないことを踏まえ、車両を保有する法的義務について質疑がなされ、これに対し、国が示す消防力の整備方針において、中高層建築物が十棟以上ある市町村についてははしご付消防自動車を整備しなくてはならないとする基準があるとの答弁がなされた。本会議の表決に当たっては、全会一致で同意された。

宜野湾市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

可決

議案の主な内容は、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る令和三年度の国民健康保険税を減免するため、条例の一部を改正するものである。

委員会審査では、「新型コロナウイルス感染症の影響による減免の対象者」増加が市の国保財政に与える影響について質疑がなされ、これに対し、令和二年度については減免額に対し、国の補助が十割となっていたので市の財政的な負担はなかったが、令和三年度は市町村の国保の財政規模と減免額によって国からの補助率が変動し、本市に対する補助額が減免額に対して四割となる可能性があるため、その分収入が減少すると見込まれるとの答弁がなされた。

本会議の表決に当たっては、全会一致で原案のとおり可決された。

喜友名23号道路整備工事（1工区）請負契約について

同意

議案の主な内容は、喜友名二十三号道路整備工事（1工区）について、工事請負契約を締結したいとの内容である。

委員会審査では、入札した九者のうち六者が無効となったことに関し、最低制限価格を設定する目的及び根拠について質疑がなされ、これに対し、品質の確保及びダンピング防止を目的としており、地方自治法及び公共工事の品質確保の促進に関する法律並びに宜野湾市財務規則等を根拠に設定するものである。

また、最低制限価格の設定に当たっては、宜野湾市建設工事等に係る最低制限価格設定基準要綱に基づいて積算を行っており、最低制限価格は入札日まで公表されないが、入札参加者は要綱等を参考に入札額を決定されているものと認識しているとの答弁がなされた。本会議の表決に当たっては、全会一致で同意された。

児童福祉施設等従事者へ新型コロナウイルスワクチンの優先接種を求める意見書

可決

去る六月十七日、政府は、沖縄県に対し六月二十日を期限としていた緊急事態宣言を七月十一日まで三週間延長することを決定した。県内では五月の大型連休後、子供の感染が急増し、学校現場でのクラスターの発生も相次いだほか、感染力が従来のウイルスの一・九五倍とも言われるデルタ株の疑いのある患者が確認されるなど、予断を許さない状況である。児童福祉施設等においては、緊急事態宣言の発令で多くの学校等が休校する中でも原則開所が求められており、児童福祉施設等従事者は、自身が感染するリスクに加え、児童生徒へ感染させてしまうことへの不安感など、精神的、身体的に相当な負担を抱えているのが現状である。

沖縄県は、感染拡大を抑制するため、県内二か所で実施している新型コロナウイルスワクチンの広域接種について、六十五歳以上の高齢者のほかに警察官や介護従事者への優先接種を開始したが、児童福祉施設等従事者への接種は空き枠の活用等での一部実施を除き、制度化は実現していない。子供の感染が増加している状況においては、児童福祉施設等での感染リスクは高まっている。特に、未就学児童に対しては感染予防対策を理解させることが難しく、令和三年五月には那覇市の認定こども園において二例のクラスターが発生するなど、児童福祉施設等従事者へのワクチン接種を早急に実施する必要がある。

よって、本市議会は、児童福祉施設等従事者が安心して勤務できる環境を整備し、子供たちを安全に保育できる体制を実現するため、下記の事項について強く要請する。

記

- 一 児童福祉施設等従事者へ新型コロナウイルスワクチンの優先接種を迅速に行うこと。
- 一 保育所等を対象としている無料PCR検査を今後も継続して実施すること。
- 一 県が運営する広域接種会場でのワクチン接種について、児童福祉施設等従事者を含めた市民の被接種情報を可能な限り速やかに市へ提供すること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

令和三年七月八日
沖縄県宜野湾市議会

米軍普天間飛行場所属UH-1Yヘリの津堅島への不時着に関する意見書

可決

去る六月二日午後十時四十五分頃、米軍普天間飛行場所属機であるUH-1Yヘリがうるま市津堅島の民家からわずか百二十メートルの畑に不時着する事態が発生した。不時着したヘリの同型機が、県内外の民間地等に緊急着陸や不時着を繰り返していることを鑑みると、機体の安全性に問題があると言わざるを得ない。

さらに、夜間の航空騒音規制措置が守られていない運用実態も改めて明らかになった。相次ぐ事故や機体の不具合、住宅地上空での飛行訓練など、米軍機の運用全体に対する市民、県民の不安や恐怖は限界に達している。これまでも事件、事故が起こるたびに関係機関に対し、度重なる抗議を行っているにもかかわらず、改善されるどころか、何度も繰り返される事態に激しい憤りを禁じえない。

よって、本市議会は市民の尊い生命及び財産並びに安心・安全な生活を守る立場から、今回の不時着に対して厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 一 原因の究明及び普天間飛行場所属機の徹底した点検を行い、その結果を速やかに公表すること。
- 一 実効性のある再発防止策を講じ、実施状況を明らかにすること。
- 一 再発防止策を講じるまで同型機の運用を停止すること。
- 一 日米両政府で合意されている「普天間飛行場における航空騒音規制措置」を厳格に遵守し、夜間二十二時以降の飛行及び地上での活動は実施せず、それ以外の時間帯においても市民生活に最大限配慮すること。
- 一 普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還を実現すること。
- 一 日米地位協定を抜本的に改定すること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

令和三年六月二十八日
沖縄県宜野湾市議会

米軍普天間飛行場所属
CH-53Eヘリコプターによる
コンテナ落下事故に関する意見書

可決

去る七月十三日十二時三十分頃、普天間飛行場所属のCH-53Eヘリコプターが沖縄県渡名喜村沖の海上に鉄製コンテナ一台を落下させる事故を起こした。沖縄防衛局は、コンテナの大きさは縦約二メートル、横及び高さ約二・五メートルと発表しており、報道によれば、重量については約一・一トンとされている。今回の落下事故は、一歩間違えば住民や観光客を巻き込む大惨事につながった恐れがある。命が脅かされる極めて危険な事態であり、断じて容認できるものではない。

今回の落下事故による人的・物的な被害はなかったが、事故自体があつてはならないことであり、これまで本市議会は事件・事故等が起こるたび、再三にわたる強い抗議、再発防止策の徹底を求めてきたが、今回のような事故が再び発生したことに激しい怒りを禁じえない。

よつて、本市議会は市民・県民の尊い生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る立場から、CH-53Eヘリコプターによるコンテナ落下事故に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 一 事故原因を徹底究明し、速やかに公表すること。
 - 一 実効性のある再発防止策を講じ、実施状況を明らかにすること。
 - 一 再発防止策が講じられるまでの間、同型機によるつり下げ輸送や訓練を中止すること。
 - 一 普天間飛行場の一日も早い閉鎖返還を実現すること。
- 以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

令和三年七月二十日
沖縄県宜野湾市議会

米軍普天間飛行場内における
PFOS等を含む汚水の
適切な処理を求める意見書

可決

去る七月十三日、米海兵隊は、国、県、市に対し、泡消火剤の使用等により生じた米軍普天間飛行場内におけるPFOS等を含む汚水について、浄化処理した上で公共下水道への放出を検討していることを明らかにした。

放出する理由としては、従来の焼却処理では財政的負担が大きいことや台風等によって貯水槽へ雨水が流入し、汚水が漏出することを未然に防ぐためと説明している。

PFOSは、生物への蓄積性、毒性のある汚染物質として、廃絶に向けて国際的に規制されており、国内では製造・使用が原則禁止され、その含有廃棄物は厳格に保管、処理することが示されている。汚染濃度も総量も把握できない汚水を、漏出事故防止との理由で公共下水道へ放出することは本末転倒であり、あまりにも無責任で一方的である。米軍は自らの責任で処理を完結させるべきである。

いくら汚染物質を除去する処理を行うと主張しても、全ての量が安全に処理されるか確認することは困難であり、仮に汚水が放出されてしまった場合、体内に蓄積されることによる健康被害、環境への影響、風評被害が懸念され、容認できるものではない。

よつて、本市議会は市民・県民の健康並びに安全で安心な生活を守る立場から、米軍普天間飛行場内におけるPFOS等を含む汚水の処理について、下記の事項を強く要請する。

記

- 一 環境中で分解されにくく、残留性の高いPFOS等を含む汚水を公共下水道や河川へ絶対に放出しないこと。
 - 一 PFOS等の処理は、従来どおり米軍の責任において焼却処理で行うこと。
 - 一 泡消火剤は速やかにPFOS等を含まない代替品等へ替えること。
 - 一 環境汚染につながる物質を含む泡消火剤や燃料等は法令等を遵守し厳格に管理すること。
- 以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

令和三年七月三十日
沖縄県宜野湾市議会

米軍普天間飛行場所属
MV-22オスプレイの
部品落下事故に関する意見書

可決

去る八月十二日午後九時半頃、普天間飛行場所属のMV-22オスプレイが、キャンプシユフとキャンプハンセンにまたがる中部訓練場と同飛行場との間を飛行中に重さ約一・八キログラムのパネルと、フェアリングと呼ばれる覆いを落下させた。米側は事故発生から一日近く経った十三日夕方に日本政府に通報し、具体的な落下地点は不明」と説明している。

先月七月十三日には、普天間飛行場所属のCH-53Eヘリコプターが沖縄県渡名喜村沖の海上に鉄製コンテナ一台を落下させる事故を発生させており、これに対し本市議会も同月三十日付で事故に関する意見書及び抗議決議を可決した。これまでも事故が起こるたびに関係機関に対し、実効性のある再発防止策を講じるよう求めてきたが実行されることはなく、前回の事故から約一か月も経たない間に再び事故が発生した。毎月のように事故が発生している現状に対し、基地運用が機能不全に陥っていると指摘せざるを得ず、激しい怒りを禁じえない。また、事故発生から一日を要した今回の連絡の遅れは、市民・県民に対する安全軽視の表れであり、断じて容認できない。

よつて、本市議会は市民・県民の尊い生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る立場から、MV-22オスプレイによる部品落下事故に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 一 事故原因を徹底究明し、速やかに公表すること。
 - 一 米軍機による事故等が発生した際、関係自治体等に対し速やかに情報提供を行えるよう、日米双方の連絡体制を構築すること。
 - 一 実効性のある再発防止策を講じ、実施状況を明らかにすること。
 - 一 再発防止策が講じられるまでの間、同型機による飛行訓練を中止すること。
 - 一 普天間飛行場の一日も早い閉鎖返還を実現すること。
- 以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

令和三年八月二十日
沖縄県宜野湾市議会

第434回宜野湾市議会臨時会 議決結果一覧(全会一致)

Table with 6 columns: 種類, 件名, 議決結果, 種類, 件名, 議決結果. Contains 6 rows of meeting items and their outcomes.

第435回宜野湾市議会定例会 議決結果一覧(全会一致)

Table with 6 columns: 種類, 件名, 議決結果, 種類, 件名, 議決結果. Contains 20 rows of meeting items and their outcomes.

(*) 上記以外の議案については、ホームページをご覧ください。

第435回宜野湾市議会定例会 議案(全会一致を除く)に対する議員の賛否一覧

Table with 14 columns: 議案, 件名, 議決年月日, 議決結果, 出席者数, 表決総数, 賛成, 反対, and 12 columns for individual council members (伊佐文貴, 平安座武志, etc.).

第436回宜野湾市議会臨時会 議決結果一覧(全会一致)

Table with 6 columns: 種類, 件名, 議決結果, 種類, 件名, 議決結果. Contains 2 rows of meeting items and their outcomes.

第437回宜野湾市議会臨時会 議決結果一覧(全会一致)

Table with 6 columns: 種類, 件名, 議決結果, 種類, 件名, 議決結果. Contains 4 rows of meeting items and their outcomes.

第438回宜野湾市議会臨時会 議決結果一覧(全会一致)

Table with 6 columns: 種類, 件名, 議決結果, 種類, 件名, 議決結果. Contains 2 rows of meeting items and their outcomes.